

# 差別ハガキ事件の分析は？



西山 富三郎 議員

町長

## 根強い差別意識のあらわれ



差別を乗り越える伝統芸能

【西山】町長選挙を前にして、町長名をかたり、部落差別をあらわにした差別ハガキ事件が起きたが、分析はどうなっているか。

【町長】差別ハガキだけでなく、近年連続して差別事象が発生している。その背景についても大学教授に依頼し次の指摘を受けた。  
一、依然として根強い差別意識がある。

二、差別の拡大、経済情勢が大きな背景。  
三、差別を温存、容認するような社会の風潮や傾向が存在している。  
四、公的な機関による差別解消の積極的な啓発や施策が必要。  
これらの点は、各種施策を実施しており、今後も総合的に具体化をはかつていく。

# 障がい者の法律は？

## 町長 障がい者の運動が制定をうながした

【西山】平成25年6月に、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」が参議院で全会一致で成立したが、その内容は。

【町長】略称「障がい者差別解消法」は、日本政府が署名をした障がい者の権利条約批准のための国内法整備の二環として制定された。

障がい者自身が、自分のことは自分で決めるという思いと、粘り強い運動が法律の制定をうながした大きな背景であるとも言われている。

一、国の機関・地方公共団体・民間事業者などによる障害を理由とする差別を禁止する。

二、行政機関に対し過重な負担でない限り、社会的障壁の除去につき合理的な配慮をする義務を課す。

三、差別を解消するための取り組みについてガイドラインを作成する。

四、障害を理由とする差別を解消するための支援措置を定めている。



挑戦・親ぼく・交流を深める